

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	ナノデス アクキュライン 9	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.056	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：アクキュライン 9

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離 番

4 インチ

研磨剤

比較対照ボール：アクキュライン 8

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

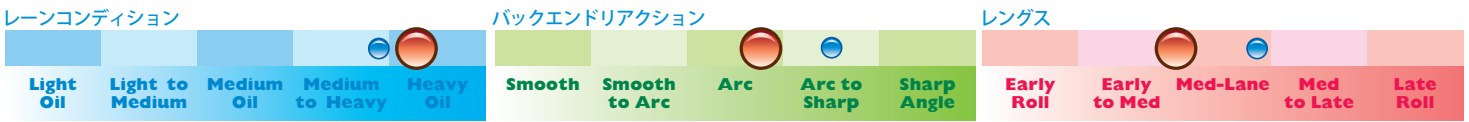
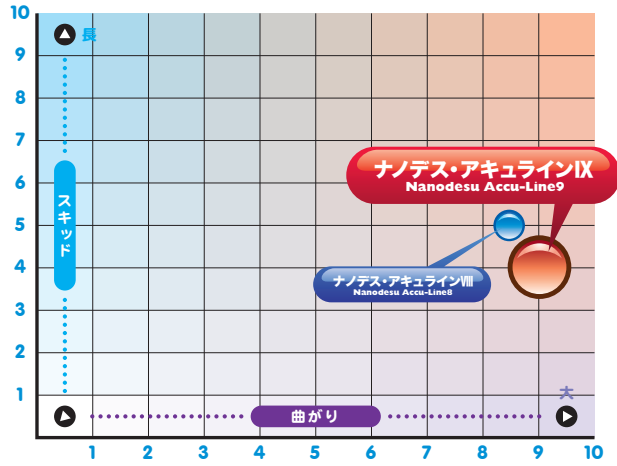
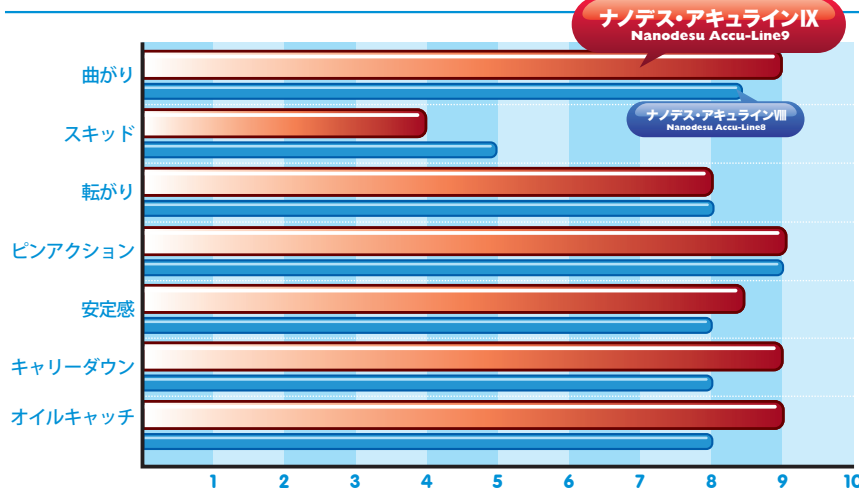
PAPからピンとの距離 番

4 インチ

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- パフ



ボールの評価

アクキュラインシリーズも第9弾(アクキュラインPlus含む)を迎え、ボールの新たなる可能性を求めべくアクキュラインカスタムも始動致しました。

国外のボールから一歩遅れをとっていた国産ボールのパフォーマンスも”AVEX”カバーストックが採用されてから同等かそれ以上の性能を発揮できるまでになっていると感じて頂いていることでしょう。

今回のアクキュライン9は、アクキュライン8の性能をベースにしてさらに厚いオイルに対応できるようカバーストックを強化し、#2000アブラロンで仕上げることでオイリーなコンディションでスキッドからフック・ロールに至るまでバランスの取れた性能を目指しました。特にやや早めにフック状態に持ち込めるようモーションポテンシャルの大きいBIG SHUTTLEコアの数値を変更設定することで、キャリアダウンの影響も少なく、オイリーなコンディション安定したパフォーマンスが発揮できるよう努めました。また早めの立ち上がりを表面加工に頼るだけでなく、アクキュライン8をベースに再配合したカバーストックがその性能を支えているの言うまでもありません。

回転数が多い方、スピードが遅めのボウラーでは#4000アブラロンで加工して頂くことがベストで、ポリッシュを施すことでアグレッシブなバックエンドリアクションも得ることができます。

オイリーなコンディションで確実に曲がりを得られるボールを持つことは、そういうコンディションに遭遇したとき自分のスタイルを貫き通す安心感へと変わります。ピンアクションもアクキュライン特有の柔らかいイメージのまま継承されています。

特記事項

今回のアクキュライン9はキャッチを優先し、ミッドエリアからの動きを意識し、キャリアダウンの影響度を最小限に抑えました。オイリーなコンディションで是非この性能をお試しください。